



「人間はロマンがなけりゃ」

にしごうち
千種町西河内
どうもとつね た ろう
堂元常太郎さん(87歳)
しな こ
品 子さん(86歳)



質 問 堂元さんといえば「ベレー帽」ですが・・

常太郎 ベレー帽か？5つや6つはあるだろ。夏用もあるし。おっ、フランス製のんもある。万博のおりにかぶっていったんもまだある。帽子なら2、30あるやろ。

品 子 昔からオシャレなんや。そいで、こまめなこまめな人やで、この人のお針なんどしたことないで。アイロンもしてやし。

常太郎 ウェア買ったら、自分でどっこも直すでなあ。

質 問 そんなこまめな堂元さんは、しめ縄や凧作りも名人ですよな。

常太郎 一昨年くらいに、めがねとごぼうを64作ったんが最高や。凧もよーけ作った。子どもの時から、絵を描くんが好きやったで。今も干支の絵を、凧や色紙に描いたりしよる。何にもないところから、形にするということはロマンがあるだろ。

品 子 絵描きだしちゃったら、ご飯も食べんと描いてやわ。

質 問 若いときは、明延鉾山に居られたとお聞きしていますが・・

常太郎 明延には、よーけ思い出がある。

従業員が1300人とその家族。いわゆる人生の20代・30代は面白いときじゃ。そやけど「宵越し暮らし」。江戸っ子と一緒にじゃ。男は落盤したら一発じゃ。明日の命があるか分からん仕事やでなあ。「炭坑節」ならぬ「鉾山節」があったわな。

品 子 そりゃ、明延はよかったで。3日に1回は興行もんが来て。正司歌江・花江も来たがいなあ。

子どもらも、ふるさとは明延じゃ言うでなあ。おじいさん！またよーけタバコ吸いよってじゃ。

常太郎 これは、ハツカ入りでうまいんじゃ。この楽しみがあってホンマ良かった。これで死んだら満足じゃ。

品 子 まあ、5年程前には、一回死にかけとっちゃったんやで。子供らがみんな枕元で泣いて、手握って、ブラジルにおる娘まで帰とったんやでなあ。

常太郎 あの時、夢うつつの中で、「こがいなこっちゃったらあかん。もういっぺん元気になっちゃろ」思うたでなあ。

わしは、「無病息災」じゃなしに「多病息災」なんじゃ。

品 子 生命力があってじゃわ。村内やったら、うちらが最高やろな。歳が大きいて元気なんわ。

恋愛じゃでな。こない言うても。

常太郎 そがあ〜いなことはえんじゃ。

子供4人に孫が12人。ひ孫はもうすぐ25人。
今日まで、たくさんさんのロマンとともに、お二人仲良く歩んでこられたのでしょうね。
「元氣な間に、精一杯羽ばたいとかなあかんや。」 ホントにそうですね。



しめ縄と凧



「知っとること、できることは
伝承していきたい！」



「これがうまいんじゃ。」



若かりし頃のおふたり

(千種支部 山本めぐみ)

●当機関紙に掲載している氏名及び写真等については本人の承諾を得て掲載しています。

こんにちは！

社協です!! No.22 2007年4月15日発行